

職員による自己評価

A環境面

・疾患特異的に、8～10人の人数は集中力を維持する環境としては難しい。
・児童発達と放課後デイサービスの児童を混在して同一空間で指導するのが難しい。

→体格か筋力の違いが大きく怪我のリスクがある。

→年齢によって目指す目標が違う為、周りを見て劣等感を抱いたり、集中力が書けてしまうことがあります。

・一般的なサービス後の利用となる為、危険な器具等への片づけが不十分となってしまう。児も気になってしまう。

・理学療法士が常駐している為、身体機能面・精神面において専門的な監視下のもと療育が行える。

・使用できる遊具、道具が比較的多い。プレイスペースが広い。

・床が全面マットの為、怪我の防止になっている。

B児童への支援内容

・療育に対する専門的な研修がない。
・キッズフィットは飽きやすくつまらぬと言う児が多い。

→単純な反復運動が多い為、児のモチベーションが継続しない。

・保護者へのフィードバックは比較的丁寧に行えている(一人一人に対応している)。

・児童に対してスタッフの人数が足りないと感じる。

→マンツーマンで接する必要がある時に人手不足を感じる。

C保護者への説明責任・信頼関係

・直近の大幅な人員減少に伴う、保護者からの信頼性の低下が払拭できていないと感じる。

・キッズフィットの説明が不十分であると感じている。

→保護者会ではキッズフィットの説明および体験会を実施しているが、現状でキッズフィットの説明を希望される保護者の方が多いと感じるため。

・LINEにて保護者への連絡やインフォメーション、児が運動している場面の動画などを供覧できる体制を作っている。

D非常対応

・避難誘導の確認・練習は行っていない。
・AEDの使用法の講習は受けている(年1回)。

保護者による評価

A環境面

- ・広々として十分
- ・発達障害に詳しい先生とそうではない先生がいる。
- ・子供の様子をちゃんと見ていない
- ・不適切な対応をしているスタッフがいる。
- ・多くの先生方に指導して頂き、大変ありがたい。
- ・スッキリとした生活空間ホワイトボードには視覚的にわかりやすく、今日の日付、やる事、スタッフの写真が掲示してあり良い。
- ・トイレも広く清潔です。

B児童への支援内容

- ・子供の様子を見てもらっていると思います
- ・まだ通い始めなのでわかりません。
- ・新しいプログラムが始まり今までと違う活動で楽しんでいます。
- ・活動プログラムの内容がもう少し詳しくわかるといいです。
- ・とても丁寧に相談に乗っていただき、大変嬉しく思っています。
- ・こちらでやっていただくことはないですが普段幼稚園等に通っているので問題ないです。

C保護者への説明責任・信頼関係

- ・特に家での過ごし方等についてご意見等頂いたことはありません。
- ・あるといいのですが施設の営業時間、児童と介護だと厳しいと思います。
- ・あまり話す時間がないです。
- ・自分のほうが適切な支援方法をわかっていると思うときがある。
- ・活動終了後に今日はどんな様子だったのかをお伝えくださいます。
- ・最近の子供の様子を伝えて入れています。
- ・毎回終了後にその日の様子を伝えていただいています。
- ・保護者の交流はありません
- ・こういうの取り入れてほしいとお伝えしても、その結果どうなったかはよくわからない。
- ・LINE 動画を送ってくれます。
- ・どんな活動をするのか、やったかが定期的にわかるといいです。

D非常対応

- ・避難場所については説明を受けたい。
- ・訓練されているかはわからない。

E満足度

- ・先生のことも大好きで懐いていて子供も楽しみにしています。いつもありがとうございます。
- ・一緒の子と少しもめたとき行き違いがありました。
- ・いやな時があると言っていた。
- ・内容は良いですが時間がもう少し長いとありがたいです。
- ・活動時間をあと30分(17:30)までだと通いやすくなると思います。
- ・6時間授業が増え4月からは利用日が15:30下校です。元氣ジムにつくのが16:15頃になります。
- ・子供の活動時間が少なくなります。
- ・帰りだけでも送迎があると助かります。
- ・異動、離職率が多い。異動のサイクルをせめて3年～5年程度にしたほうが良い。
- ・間違った支援をしているスタッフをみた
- ・専門性がなく何の為に通っているかわからない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・LINE等での情報共有及び、帰りの際に保護者へのフィードバック・相談受付等おこなっている。
- ・療育の研修を行っていないため、担当スタッフ間での知識・技術に大きな差が生じている。
- ・大幅な異動・離職に伴う、保護者からの信頼性の低下。
- ・活動プログラムの内容を事前に伝えていない。

【相違点】

- ・避難訓練、災害等のマニュアルについての周知がされていない。
- ・活動プログラムの内容を事前に伝えていない。

事業所の強み

- ・定員10名に対し児童指導員2人という国の人員配置基準を常に満たしている。
- ・理学療法士を常駐し専門的知識のもと指導を行う環境が整っている。
- ・キッズフィットを通じて基礎的な身体づくりの実施が行えている。
- ・感覚統合療育のための室内遊具が多くある。
- ・LINEにて保護者への連絡やインフォメーション、児が運動している場面の動画などを供覧できる体制を作っている。

事業所の改善点

- ・プログラムを固定している為、児のモチベーションが低下している。
- ・キッズフィットに対して飽きを感じる児が多い。
- ・保護者への支援計画に対する進捗など活動報告が十分ではない
- ・非常時や感染症についての周知が十分ではない。
- ・運動内容や目的等のインフォメーションが不十分だった。

事業所の改善への取り組み

- ・キッズフィットに加え、サーキットを再導入し児のモチベーション向上を図る。
- ・必要に応じて事業所内相談支援を行う(保護者からの希望時に対応できるようにしていく)。
- ・非常時のマニュアルを作成し(避難・感染症・リスク管理・虐待防止・身体拘束等)、保護者への周知を徹底する。
- ・お子様に楽しんで通所いただけるよう、遊びの工夫や、声掛けの工夫を続ける。
- ・毎月の制作など事前に活動内容を告知し、安心して通所いただけるようツールの共有方法を検討する。